

# Health Professional Meeting (H20) 2019

## 次 第

第1日目：6月13日（木）

進行：道永麻里 日本医師会常任理事、世界医師会理事会副議長

13:00-13:15 歓迎の辞

横倉義武

日本医師会長、世界医師会前会長

Leonid Eidelman

世界医師会長、イスラエル医師会前会長

13:15-13:25 来賓祝辞

安倍晋三 内閣総理大臣（ビデオメッセージ）

根本 匠 厚生労働大臣（鈴木康裕医務技官代読）

13:25-14:45 基調講演

座 長：Miguel Jorge／世界医師会次期会長、ブラジル医師会理事

13:25-13:55 基調講演1「健康格差と健康の社会的決定要因」

Sir Michael Marmot 世界医師会元会長

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン疫学教授

13:55-14:25 基調講演2「UHC 実現のために～何が必要か～」

山本尚子 WHO 事務局長補

14:25-14:35 提 言「プライマリ・ヘルスケアチームにおける役割と機能の定義」

Mukesh Haikerwal 世界医師会元理事会議長 オーストラリア医師会

14:35-15:00 休 憩

15:00-16:30 講 演 UHC を達成する方法についての見解

座 長：Osahon Enebulele

世界医師会社会医学委員会委員長、ナイジェリア医師会元会長

15:00-15:15 講 演1 「Patients Perspective Towards Attainment of Universal Health Coverage」

Ellos Ellard Lodzeni 国際患者団体連合理事/マラウイ

15:15-15:30 講 演2 Giorgio Cometto WHO 保健人材担当部調整官

講 演3 國井 修 世界エイズ・結核・マラリア対策基金

15:30-15:45 (グローバルファンド) 戦略・投資・効果局長

15:45-16:00 講 演4 Jacqueline Kitulu ケニア医師会長

16:00-16:15 講 演5 「インドにおける UHC」 Ravindra Wankhedkar インド医師会前会長

コメント

16:15-16:20 Oscar D. Tinio フィリピン医師会元会長

16:20-16:25 Chukwuma Oraegbunam 世界医師会 Junior Doctors Network 代表/ナイジェリア

16:25-16:30 Batool Wahdani 国際医学生連盟会長/ヨルダン

16:30-17:30 パネルディスカッション

17:30 閉 会

19:00-21:00 レセプション（海外参加者、招待者対象、事前申込要）

第2日目：6月14日（金）

進行：道永麻里 日本医師会常任理事、世界医師会理事会副議長

08:45-09:00 1日目の要約

09:00-10:30 講演：健康の安全保障と UHC

座長：神馬征峰／東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室教授

UHCを達成するための継続的な取り組みにとって、災害、急性疾患および慢性疾患の流行は大きな脅威となる。UHCが機能することは、そのような脅威を克服するための強力な基盤となる。このセッションでは、健康上の脅威を制御してUHCを達成することへの貢献、およびUHCがそのような壊滅的な健康上の脅威を克服するための鍵となる方法について取り上げる。

09:00-09:15 講演1 戸田隆夫 上級審議役 独立行政法人 国際協力機構（JICA）

09:15-09:30 講演2 David Maizlish 駐日代表代理 赤十字国際委員会（ICRC）

09:30-09:45 講演3 Clara van Gulik メディカルアドバイザー 国境なき医師団（MSF）

09:45-10:00 講演4 「医療制度の回復力：タイにおけるUHCと健康の保障のための基礎」

Walaiporn Patcharanarumol 国際保健政策プログラム部長 タイ保健省

10:00-10:15 討論

10:15-10:40 休憩

10:40-12:30 講演：UHCとプライマリ・ヘルスケアの政治的側面－医療専門職の役割

座長：中谷比呂樹 WHO 執行理事、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート特任教授

10:40-10:55 講演1 「医療専門職が導く成功への道筋」

Walid Ammar レバノン保健省事務局長

10:55-11:10 講演2 「UHCに政治的意思、厳格な決断、及び関与が必要な理由」

渋谷健司 キングス・カレッジ・ロンドン教授

11:10-11:25 講演3 「UHC実現の政治的意思、厳しい決断、医師の指導力と義務－AMAの経験から」

David Barbe アメリカ医師会元会長

11:25-11:40 講演4 「プライマリ・ヘルスケアはそれ自体が目的か、それとも包括的なヘルスケア包括システムへ向けた一歩か、プライマリケア・チームは誰が主導すべきか？」

Otmar Kloiber 世界医師会事務総長

11:40-11:55 講演5 ビル&メリнда・ゲイツ財団（調整中）

11:55-12:10 講演6 「社会的共通資本と医療」

占部まり 宇沢国際学館代表

12:10-12:15 コメント

Chaand Nagpaul イギリス医師会議長

12:15-12:30 討論

12:30-13:40 昼食（海外参加者、招待者対象、事前申込要）

13:40-15:40 「UHC に対する責任の共有と個人の義務」  
座 長：葛西 健 WHO 西太平洋地域事務局長  
講 演：「日本における UHC の導入と初期における医師及び医師会の対応の歴史」  
横倉義武 日本医師会長、世界医師会前会長

パネルディスカッション

厚生労働省：鈴木康裕医務技監  
日本医師会：横倉義武会長  
世界医師会：Frank Ulrich Montgomery 世界医師会理事会議長  
ユニセフ：平林国彦 東アジア・太平洋地域事務局保健アドバイザー  
WHO 南東アジア地域事務局：Pem Namgyal プログラムマネージメント部長  
WHO アフリカ地域事務局：(調整中)

15:40-16:00 休 憩

16:00-16:30 「UHC に関する東京宣言」(仮題) 採択

座 長：Frank Ulrich Montgomery 世界医師会理事会議長

主な点

- UHC とプライマリ・ヘルスケアの理解と関与の強化
- UHC の達成に向けた長期国家政策の策定
- 医師及び医師会の役割の明確化、政府と社会のあらゆる側面に向けた提言の策定

16:30 閉会の辞

横倉義武 日本医師会長、世界医師会前会長

Leonid Eidelman 世界医師会長、イスラエル医師会前会長

19:00-21:00 夕食会 (海外参加者、招待者対象、事前申込要)